

令和 7 年 2 月 12 日

## 福島大学環境放射能研究所 第 11 回成果報告会 開催のお知らせ

本学環境放射能研究所は、研究成果を学外（地域の方や放射能研究の専門家等）へ向けて報告する「成果報告会」を毎年行っています。この度、令和 7 年 3 月 11 日（火）に第 11 回目となる成果報告会を開催することになりました。

本会では、「環境放射能から見えるエコシステム」をテーマに、市民の方々を対象としたシンポジウムを実施いたします。

研究成果をわかりやすくお伝えするとともに、参加者との意見交換を通して研究成果が地域に還元される事を目指しています。

- 日 時：令和 7 年 3 月 11 日（火）13：00～16：30（市民向けシンポジウム）
- 場 所：コラッセふくしま 4 階多目的ホール  
（福島県福島市三河南町 1 番 20 号）  
オンライン同時配信予定
- 発表者：環境放射能研究所 所属研究者  
共生システム理工学類 所属研究者
- 申 込：参加費無料・事前登録制  
特設サイト（<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/aprm>）より  
参加登録ください。



←特設サイトに  
リンクします

事前参加登録締切は 3 月 5 日（水）とさせていただきます。

インターネット環境がない方は、3 月 4 日（火）までに電話・FAX にて  
下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※事前の周知と当日のご取材よろしくお願ひします。

取材をご希望の方は、3 月 6 日（木）までに下記お問合せ先までご連絡  
ください。

（お問い合わせ先）  
福島大学環境放射能研究所 事務室  
電話：024-504-2721  
FAX：024-503-2921  
E-mail：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

# 環境放射能 から見える エコシステム

Ecosystems from the  
Environmental Radioactivity Perspective

参加  
無料

オンライン参加可  
要事前登録

開催日時

2025年3月11日(火) 13:00~16:30

会場

コラッセふくしま 4F 多目的ホール > オンライン同時配信 <

対象者

一般市民、行政、研究機関等関係者

市民向けシンポジウム登壇者



「年輪と古環境」

木村 勝彦 KIMURA Katsuhiko  
福島大学 共生システム理工学類 特任教授



「大気-植物-土壌系における  
HTO循環の解明」

平尾 茂一 HIRAO Shigekazu  
福島大学 環境放射能研究所 准教授



「なぜ淡水魚の放射性セシウム濃度は  
低下しにくいのか?」

和田 敏裕 WADA Toshihiro  
福島大学 環境放射能研究所 教授



「ALPS処理水放出後の海洋での  
トリチウムについて」

高田 兵衛 TAKATA Hyoe  
福島大学 環境放射能研究所 准教授



「生態系における放射能汚染の長期的変化:  
レガシーサイトと福島」

アレクセイ・コノプリーヨフ Alexei KONOPLEV  
福島大学 環境放射能研究所 副所長/特任教授



「なぜコメの放射性セシウム濃度は低いのか」

塚田 祥文 TSUKADA Hirofumi  
福島大学 環境放射能研究所 教授





# 福島大学環境放射能研究所 第11回 成果報告会

## The 11th Annual Symposium of the IER, Fukushima University

福島大学環境放射能研究所は、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故により影響を受けた福島の中放射能研究を推進するため、2013年に設立されました。

研究結果から見える福島の将来について今までの研究でわかったことを共有し、今後の研究発展につながるよう毎年開催している本成果報告会について、今回は「環境放射能から見えるエコシステム」と題し、地域の方や放射能研究の専門家等へ向けて研究成果をわかりやすくお伝えいたします。

参加者との意見交換を通して研究成果が地域に還元される事を目指します。



3/10 月 専門家向け口頭発表

4F: 多目的ホール 13:30-17:00  
対象: 専門家 ※どなたでも参加可 言語: 英語

3/11 火 専門家向けポスター発表

4F: 会議室401、402、403(予定) 10:00-12:00  
対象: 専門家 ※どなたでも参加可 言語: 英語

3/11 火 市民向けシンポジウム

言語: 日本語または英語 同時通訳あり

時間	内容	登壇者	所属・役職
13:00-13:05	開会挨拶 Opening Remarks	三浦 浩喜 MIURA Hiroki	福島大学 学長 President, Fukushima University
13:05-13:10	趣旨説明 Overview	難波 謙二 NANBA Kenji	福島大学 環境放射能研究所 所長/ 福島大学 共生システム理工学類 教授 Director, IER/ Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
13:10-13:35	「年輪と古環境」	木村 勝彦 KIMURA Katsuhiko	福島大学 共生システム理工学類 特任教授 Project Professor, Faculty of Symbiotic Systems Science
13:35-14:00	「大気-植物-土壌系におけるHTO循環の解明」	平尾 茂一 HIRAO Shigekazu	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
14:00-14:10		休憩 Break	
14:10-14:35	「なぜ淡水魚の放射性セシウム濃度は低下しにくいのか？」	和田 敏裕 WADA Toshihiro	福島大学 環境放射能研究所 教授 Professor, IER
14:35-15:00	「ALPS処理水放出後の海洋でのトリチウムについて」	高田 兵衛 TAKATA Hyoe	福島大学 環境放射能研究所 准教授 Associate Professor, IER
15:00-15:10		休憩 Break	
15:10-15:35	「生態系における放射能汚染の長期的変化: レガシーサイトと福島」	アレクセイ・コノプリョフ Alexei KONOPLEV	福島大学 環境放射能研究所 副所長/特任教授 Vice Director/Project Professor, IER
15:35-16:00	「なぜコメの放射性セシウム濃度は低いのか」	塚田 祥文 TSUKADA Hirofumi	福島大学 環境放射能研究所 教授 Professor, IER
16:00-16:25		総合討論 Discussion	
16:25-16:30	閉会挨拶 Closing Remarks	アレクセイ・コノプリョフ Alexei KONOPLEV	福島大学 環境放射能研究所 副所長/特任教授 Vice Director/Project Professor, IER

事前参加登録は特設ページからお願いします。

IER 成果報告会

<https://www.ier.fukushima-u.ac.jp/aprm>



インターネット環境がない方はTELまたはFAXで右記についてお知らせください。

・氏名(フリガナ) ・所属先またはお住まいの市町村  
・電話番号 ・参加方法: 現地参加またはオンライン  
提供いただいた個人情報は、国立大学法人福島大学個人情報保護規程に従い、適切に管理・利用いたします。

お問い合わせ

**福島大学 環境放射能研究所**  
TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921  
E-mail [ier@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:ier@adb.fukushima-u.ac.jp)



会場

**コラッセふくしま**  
4階多目的ホール  
福島県福島市三河南町1番20号  
(福島駅西口 徒歩3分)

